

令和4年度 学校経営計画書

(令和4年4月5日)

学校番号	85	学校名	静岡県立湖西高等学校	校長名	小林 孝誌
------	----	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「自ら考え、正しく判断し、自らの力で実践する」精神を備え、知・徳・体の調和がとれ、一人ひとりが個性的で、地域に貢献し、社会・産業を支える人材を育成する。

ア 高校生としての基本的な姿勢・態度を明確に示し、的確・適切に指導する。

イ 生徒が自信をもって、明るく活き活きと生活できるよう、一人一人の個性・能力を伸長する。

ウ 生徒が社会で生きていく力を身につけ、各自が夢や希望を持って、進路を切り拓くよう支援をする。

エ 地域・社会のなかで様々な連携事業等に参加しながら、これからの地域・社会の文化や産業を支えていく人材を育成する。

(2) 目標具現化の柱

ア 規範意識や基本的生活習慣の確立(あたり前のことがあたり前にできる生徒の育成)

イ 授業を基本とした確かな学力の育成(主体的な学びの支援と教職員研修)

ウ 地域・社会のなかでの学びの推進と情報発信(地域・社会との協働、相互理解)

エ 部活動、特別活動の活性化(文化活動・スポーツ活動等の充実・活性)

オ 生徒個々の目標に応じた進路指導(進路希望実現に向けた支援体制の充実)

カ 心身の健康増進と衛生環境づくり(教育相談体制の充実と環境美化)

キ 安心・安全な教育環境の整備(危機管理意識の向上と施設・設備の整備)

ク 健全で活力のある教職員集団の育成(業務の改善と時間外勤務の削減)

2 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	全教育活動を通じて、安定的な生活リズムの確立を支援する。	初期指導、授業指導(チャイム前着席)、朝読書指導等により、規律ある学校生活を実現する。	「時間を守った規律ある生活ができている」と答える生徒が90%以上	生徒教務
			「朝読書の時間には、きちんと本を読んでいる」と答える生徒が80%	図書
	カード(「がんばろう湖西!」)指導を活用し、全教職員一丸となった生活指導を実践する。	授業指導、校門・校外指導等を通じ、あいさつや身だしなみ等の基本的生活習慣について、指導徹底する。	「あいさつや身だしなみ等、基本的生活習慣を、きちんと身につけようと意識している」と答える生徒が90%以上	生徒学年
イ	<b>授業を大切にし、授業に集中して取り組む姿勢と、自ら学び、自ら考える力の育成を図る。</b>	全教職員が校内研修等を通じて、生徒の学習意欲を引き出すための授業の改善と研究に努める。	「授業を大切にしている」と答える生徒が90%以上	教務生徒
	<b>教職員の指導力の向上に向け、校内研修の充実を図る。</b>	授業、進路、生徒指導力向上を図るための研修を行う。	校内研修 年間5回以上の実施 研修終了後、「有益だった」と答える教職員100%	教務 進路 図書
	<b>生徒の学力向上に向けて、授業改善に取り組む。</b>	授業評価、測定ツール等を活用し、指導の検証、改善を行う。	授業評価、測定ツール等に基づき、授業改善に取り組んだ教員80%以上	教務

様式第1号

ウ	地域・社会との連携・協働により学びの深化を図る。	湖西市、商工会、自治会、企業などの地域団体と連携し、地域・社会について学ぶ機会を提供する。	研修会や意見交換、交流などに生徒が積極的な取り組みを示す。また、内容について充実が図られている。	教務 生徒 進路
	地域や保護者への広報活動の充実を図る。	ニーズを的確に把握し、「湖西高校レポート」やHP、SNS、新聞、オープン授業等により、保護者や地域に情報を迅速に提供する。	「必要な情報がよく伝えられている」と答える保護者が80%	広報
エ	部活動、特別活動への取り組み意欲を高めるとともに、社会貢献活動の更なる推進を図る。	全教職員で、部活動への3年継続参加について指導するとともに、生徒会活動の活性化を図る。	「部活動、特別活動に意欲的・積極的に取り組んでいる」と答える生徒が80% 部活動継続率2年生95% 3年生85% 部活動等による社会貢献活動15回以上/年	生徒
オ	生徒たちの多様な進路希望の実現を図る。	3年間を通しての指導計画の下、キャリアタイム(総合的な探究の時間)等を活用して、段階的な進路指導を行う。	進路希望実現 就職希望者:100% 進学希望者:95%	進路
		課外補講、模擬試験、外部講師による講座等について、生徒のニーズ・実態に合わせて随時、見直し・修正を行う。	左記計画について、随時検証が行われている。必要があれば柔軟に修正が行われている。	学力等検討委員会
カ	心身の健康増進といじめへの確実な対応	生徒の人間関係能力を高める取り組みを充実させる。	「『いじめをいけない』という意識をもっている」と答える生徒が100%	生徒 教育相談
	教育相談体制の充実を図る。	気になる生徒についての情報を共有化し、組織的に支援する体制を作る。	「相談できる先生や場所がある」と答える生徒が80%	教育相談
	学校内外の環境整備・美化を図る。	全員清掃を徹底する。	「清掃にきちんと取り組んでいる」と答える生徒が80%	保健
キ	危機管理に関する校内体制の強化と地域防災に対する意識の高揚を図る。	生徒の交通安全、防災の意識を高めるため、街頭指導や訓練を定期的に行う。また、地域防災への参加を促す。	校内外の安全指導1回/週 地域防災参加率80% 防災訓練実施 年3回	生徒 総務
	教育活動の活性化に向け、施設・設備の充実を図る。	不具合等の把握に努め、予算に応じた適切な優先順位付けの下、計画的な修繕を行う。	不具合箇所への迅速対処100% R4年度 実施予定の修繕の実施・完了100%	事務
ク	校内業務が、職員にとって過重な負担とならないよう、業務の見直しと改善を行う。	業務の在り方、見直しについて一人ひとりが意見を出し、全員で実践出来る体制を整備する。	業務の見直しについて一人一案の募集と全体での検討年2回以上	全職員
		教職員一人一人が業務の効率化を工夫し、時間外勤務の削減に努める。	早時退勤 各自原則週1回	